

Title	STS (Student Technical Staff) の声 サイバーメディアフォーラム no.8 情報教育システム
Author(s)	
Citation	サイバーメディア・フォーラム. 2007, 8, p. 30-30
Version Type	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/70248">https://hdl.handle.net/11094/70248</a>
rights	
Note	

*Osaka University Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

## STS(Student Technical Staff)の声

STS として WebCT 操作のサポートを行う身で言うのもどうかと思うが、現状の WebCT は学習現場の要望を本当に満たしているのか疑問がある。

WebCT では学習支援環境として様々なツールが提供されているが、手作業でやれば単純に済む作業でも WebCT だと複雑な手順を踏む必要があったり、ツールの種類が多すぎてそれぞれの役割や利用法が把握しきれなかったり、システムの都合によるユーザ操作の制約（バックスペースを押すな、など）があったりなど、継続的に利用する教師や学生の視点をあまり想定してないと感じる設計がいくつも見られる。

もともと、まだ利用開始して日が浅いという点もあると思うので、今後改善されるものと期待している。

\*\*\*\*\*

2007年4月から前期の間、STSとしてサイバーメディアセンター豊中教育棟を利用しました。

STSの仕事は、先生方の教材をWebCTにアップロードする作業や、授業のサポートということで簡単な課題やアンケートを作成することです。

STSの仕事を通じてWebCTの使い方にも慣れ、先生方と交流を持つことができました。

しかし、現在WebCTは講義資料の公開場所として利用されることがほとんどで、他の使い方をあまりされていないようです。

WebCTを用いることで課題提出の管理や受講者への連絡がしやすくなります。

そういった点をもっと活用していけたらいいと思います。